

ステップアップ研修講座Ⅱ「公開授業研究会」

7月25日(金)、本校を会場に公開授業研究会が開催されました。最初に本校研究部長が本校の研究テーマである、「児童生徒の学びの充実を実現する授業づくり」の具体的理解と実施について説明を行いました。その後、本校中学部の授業VTRを鑑賞し、授業研究会を行いました。管内の小・中学校から3名の先生が参加し、KJ法を用いたグループ協議で様々な意見を出し合いました。「泣いた赤おに」を題材として気持ちの動きの読み取りや表現に着目した授業から、実態に応じた活動の設定や生徒自身の気づきを促す工夫について協議しました。

対象生徒の「実態に応じた手立て」「見る力や注目する力」「教材教具」について様々な視点から意見を出していただき、対話を通して特別支援教育について学びを深める機会となりました。



＜協議内容の一部抜粋＞

- ・相手の「感情」「気持ち」を捉える内容が実際の生活につながるよい題材設定であり、このような経験を繰り返していきたい。
- ・感情の変化について「見て分かる」ようにまとめた教材の工夫が良かった。
- ・生徒の印象に残るような声掛け、場面の設定を工夫していきたい。
- ・自分で選択できる環境づくりや、子供の得手不得手を把握した授業づくりが大切である。

高教研講演会 兼 ステップアップ研修講座Ⅱ「公開講座」

7月28日(月)、本校を会場に高教研講演会兼公開講座を開催しました。講師には、植草学園大学特命教授・佐藤慎二氏をお招きし、「児童生徒の学びの充実を実現する授業づくり」をテーマに子供たちが「分かる」と感じる授業のために必要な視点を講演いただきました。知っているだけで実生活に生かし切れていない学びではなく、「生活に生きる本物の学校教育」を目指す必要性を学ぶことができました。

後半は事前に参加者から提出いただいた協議資料をもとに先生方と支援の実際について小学校・中学校の2グループに分かれ、協議しました。小学校グループでは、児童の自身の気持ちへの気づきを促す教材について話題提供がありました。中学校グループでは、将来の自立に向けた一人一人に必要な自立活動の内容等について協議しました。

協議を通じて、他校の様子や支援の在り方について情報共有する機会となり、支援のヒントを得ることができた有意義な会となりました。



植草学園大学特命教授・佐藤慎二氏による講演



ステップアップ研修講座Ⅱとは・・・

特別支援教育担当ステップアップⅠ(特別支援教育新任担当研修)を終了した教員及び講師に対し、さらなる実践力の向上を図るために行う各障がい種や児童生徒の教育的ニーズに応じた指導内容や支援方法に関する研修